

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和6年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和7年6月4日～27日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならない場合あり。

No	基本 目標	分 類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R6事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と言えな い	
									R6	達成率			
1	1	①	空き店舗等の有効活用	空き店舗や空き地の積極的な活用により、商工業の振興と街なかの賑わいを創出する。	○空き店舗情報のデータベース化と情報発信 ○町民の需要に応じた起業者の誘致 ○店舗改修、設備導入及び創業に係る支援(企業振興促進補助事業) ○チャレンジショップの開設	0	空き店舗の活用件数(R2～R6計)	5件	4件	120% (6件) 【R2～R6】	86%	14%	空き店舗活用の実績があり、事業の一定の効果はあったものと捉える。空き店舗の有効活用は飲食店をはじめ、高いニーズがあると思われるため、行政と民間が一体となって、情報発信していくなど、より一層の協力が必要なものとする。引き続き、支援拡充等に尽力いただきたい。
2	1	①	新商品の開発と販路拡大支援	地場産品の魅力の増大や企業の新たな取組みに対し支援を行う。	○地場産品情報の都市圏への発信とマッチングの推進 ○商品開発に係る支援(企業振興促進補助事業) ○農商工連携による商品開発 【関東圏を中心に本町の特産品を紹介し販路拡大等のきっかけづくりとして、中小企業者等販路拡大事業補助金や新製品開発・新サービス開発支援事業にて事業者を支援】	0	新規販路契約事業者数(R2～R6計)	10社	0社	0% (0社) 【R2～R6】	14%	71%	実績がなく、有効性の判断は難しい。登載事業にある各種支援が未活用となった原因・背景の検証を行い、内部的な総括を行うとともに、活用されやすい支援内容等について、事業者へ意見聴取を実施するなど、創意工夫の必要性を感じる。
3	1	①	起業・経営支援	若年層の起業意欲の促進と、企業経営者の積極的な経営施策に対し支援を行う。	○相談窓口の開設 ○定期的な起業セミナー等の開催 ○起業を応援するための情報発信 創業無関心層を対象とした「創業機運醸成セミナー」を開催	0	起業創業セミナー参加者(R2～R6計)	50人	0人	236% (118人) 【R2～R6】	43%	43%	例年、商工会と連携し、羽幌高校生を対象にセミナー実施していたが、令和6年度より事業廃止しており、実績がなく有効性の判断は難しい。若年層への定期的なセミナー開催は情報発信の貴重な場であることから、高校との調整の上、ニーズに合わせた内容のセミナー開催を行うなどの代替案も含め、今後の展開について、一歩進んだ考えで、検討する必要がある。
4	1	①	6次産業化の推進	地元で収穫又は水揚げされた地場産品の付加価値向上と効率的な出荷を可能とする加工、保管及び出荷に係るシステムを構築する。	○新技術(設備)の導入等による地場産品のブランド化 ○地産地消や産業間連携の推進支援 6次産業化の取組(設備投資、新製品開発経費)に対して補助	5,000	6次産業化取組件数(R2～R6計)	3件	3件	100% (3件) 【R2～R6】	100%	0%	令和6年度実績として設備投資分が1件あり、指標値についても目標達成していることから、事業として概ね評価できる。引き続き、6次産業化助成制度の活用希望する事業者に対する広報・周知や地場産品のブランド化につながる新商品の開発・販路拡大に向けた支援について、取り組んでいくとともに、新技術等を提言・紹介できる環境づくりに注力いただきたい。
5	1	②	農業従事者の創出	新たな従事者の募集、受入、指導までを一括して行うシステムを構築する。	○新規就農研修生の雇用と受入農家の確保 ○受入体制の整備 【農業担い手協議会を中心に検討】	0	研修参加者数(R2～R6計)	5人	0人	0% (0人) 【R2～R6】	43%	29%	実績がなく有効性の判断は難しい。今後は農業バイトアプリと担い手協議会の事業がリンクできるような仕組みづくりや農業に関心のある層へのSNS等を活用したPR手法などについて、行政・関係団体が連携して検討していただきたい。

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和6年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和7年6月4日～27日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならない場合あり。

No	基本 目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R6事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と 言えな い	
									R6	達成率			
6	1	②	1次産業後継者及び新規就業者等の育成	1次産業に従事する若年労働力の育成と定着化により後継者等を確保する。	○農地取得等にかかる支援(農業後継者対策事業) ○資機材の整備等に係る支援(漁業新規就業者等育成事業)	4,836	農水産業における後継者及び新規就業者(R2～R6計)	20人	1人	65% (13人) 【R2～R6】	86%	14%	担い手対策として就農祝い金の贈呈(農業)、新規就業者等育成(漁業)として助成支援を実施しており、担い手の定着及び就業意欲の向上に直接つながっていると評価する。農漁業に従事する若者が多いことから、引き続き、新規就業者への支援事業について、取り組んでいただきたい。
7	1	③	事業承継と雇用のマッチング	働きたい人と働く人を必要とする町内企業等のマッチングを図る。	○従業員(継承者)を必要とする企業等と就労を希望する方の情報集約とマッチング 【羽幌町中小企業持続化支援事業補助制度(設備の導入・更新、店舗内装改修等に対する補助)や羽幌町雇用促進助成制度にて支援】	0	マッチング件(店舗)数(R2～R6計)	5件	0件	0% (0件) 【R2～R6】	71%	14%	過去実績がなく、有効性の判断は難しい。各種補助金の内容や制度の活用を促進するための周知徹底や町・関係団体間が連携し、町内企業等のマッチング強化について、積極的に取り組んでいただきたい。
8	1	③	企業誘致及び異業種間連携	本町の環境に適した企業の誘致と本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携事業を展開する。	○工場立地に係る支援(企業振興促進事業) ○民間企業や各種学校等との連携による新たな雇用の創出 ○都市圏企業に対するテレワーク意向調査及び受入体制の整備	22,826	誘致する企業等の数(R2～R6計)	1社	1社	100% (1社) 【R2～R6】	100%	0%	研修旅行受入をはじめとした、札幌ベルエポック製菓調理専門学校との連携は、製菓調理に携わる人材と生産現場をつなぐ、貴重な体験であり、羽幌町の特産物をPRするだけにとどまらず、今後の展開についても期待できる事業であることから、継続して取り組んでいくとともに、他の専門学校や大学との連携を検討し、さらなる地域の魅力再発見へつなげていただきたい。企業振興促進事業については、企業誘致の実績が1件あり、大きな成果を上げている点は評価できる。引き続き、地域活性化に向けて、既存企業を含めた企業に対する支援について、事業推進していただきたい。
9	1	③	雇用機会の拡充	既存企業における新規及び正規雇用を拡大する。	○常用パート及び新規雇用に係る支援の継続と支援対象者(障がい者)の拡大 【羽幌町雇用促進助成事業による補助】	6,000	新規雇用拡充数(R6補助決定者数)	20人	10人	50% (10人) 【R6】	86%	14%	常用パート及び新規雇用に係る支援の継続を目的とした雇用促進助成事業では、10社16名を対象に補助金交付の実績があり、評価指標である新規雇用拡充数こそ未達成であるものの、制度周知により企業へ浸透及び定着してきており、一定の効果が出ているものと評価できる。今後に必要な支援事業であるため、引き続き、雇用機会の拡大及び雇用環境の充実に取り組んでほしい。
10	2	①	既存資源の活用	活用可能な財産を居住拠点及びその資源として有効に活用する。	○公共施設等解体跡地の宅地としての売却 ○空き家対策計画の推進(空き家バンクの運営) ○民間賃貸住宅情報の提供 ○サテライトオフィスへの活用	1,000	空き家利用戸数(R2～R6計)	30戸	5戸	177% (53戸) 【R2～R6】	86%	14%	固定資産税送付時に制度活用に関する広報チラシを同封するなど、継続した周知により、空き家バンク制度については、すでに広く浸透・定着しており、空き家バンク契約成立3件、空き家対策補助金による住宅改修2件の実績があり、有効的と評価できる。空き家戸数の増加抑制と居住希望者のマッチングに資する事業であることから、引き続き、強化・推進していく必要がある。また、町有地において、今後活用予定のない宅地については積極的な売り払いを進めてほしい。

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和6年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和7年6月4日～27日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならない場合あり。

No	基本 目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R6事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と 言え ない	
									R6	達成率			
11	2	①	新たな住宅の整備	公営住宅の建設や単身及び世帯向けなど需要に応じた集合住宅の建設を促進する。	○公営住宅の計画的な建設 ○集合住宅の建設に係る支援(民間賃貸住宅建設助成事業)	59,427	民間賃貸住宅建設戸数(R2～R6計)	30戸	0戸	3% (1戸) [R2～R6]	86%	14%	公営住宅の建設については、高齢単身世帯や子育て・若年世帯などの住民のニーズに合わせ、適切に住戸供給していくことが重要であることから、人口減少の実態と照らし合わせながら、今後も計画的に事業推進していただきたい。 民間賃貸集合住宅建設促進助成金制度については、ニーズ等を検討の上、令和3年度より制度廃止となったが、住戸確保は地域の担い手不足解消にとって不可欠であることから、住宅需要を調査するなど、今後の事業展開について検討する必要がある。
12	2	②	魅力ある地域の創出	本町が有する豊かな自然、豊富な食材、地域特性を売りに、知名度向上と交流人口の拡大を図る。	○観光施設(自然公園(天売島・焼尻島)、道の駅(はぼろ温泉、バラ園))等の整備と適正管理 ○地場産品(甘エビ、うに、めん羊等)や観光資源を活用した観光交流イベントの実施 ○日本唯一の海鳥専門施設「北海道海鳥センター」を核とした自然環境に特化した研究事業等の実施 ○焼尻めん羊牧場の安定経営による地域産業としての持続 ○中部3町村による関係人口創出連携事業の推進	79,190	イベント満足度(R2～R6平均値)	80%	83%	104% [R2～R6平均値]	71%	14%	令和6年度においては、既存のイベント(焼尻めん羊まつり・天売ウニまつり・甘えびまつり)が各種事情により中止となったが、新規イベントとして、バラフェスティバルやはぼろ夏まつりを開催するなど、知名度向上・交流人口拡大を図っている点は評価できる。特にバラ園のような観光施設を活用したイベント開催は歓迎できる、今後も継続して実施を望むとともに、その他観光施設についても、同様にイベント等での有効活用を望む。なお、イベント等の開催日などについて、他町村との調整も必要と考える。
13	2	②	情報発信と宣伝普及活動の強化	宿泊者等の町内滞在者及び町外への情報発信に必要な素材の充実と積極的なPR活動を実施する。	○様々な媒体や機会を活用したPR活動の実施 ○外国人をターゲットにした戦略的プロモーションの展開によるインバウンド対策 ○広域による都市圏や他地域との交流事業の推進	7,965	札幌市近郊及び都市圏を対象とした宣伝事業実施回数(R6数値)	12回	13回	108% [R2 1回 R3 1回 R4 13回 R5 19回 R6 13回]	100%	0%	観光交流イベントをはじめとした、観光誘客事業については、順調に実施できており、有効的なものと評価できる。コロナ禍で減少した観光客数について、継続して増加できるよう推進していただきたい。 また、ふるさと納税の増加につながる取組については、町の特産品PRだけではなく、町の魅力発信に欠かせない事業であることから、寄附増加につながる取組を今後も強化して取り組んでいただきたい。
14	2	⑤	地域おこし協力隊事業	都市圏等他地域から本町で必要とされる新たな人材を招聘する。	○地域おこし協力隊事業 [協力隊に係る経費、協力隊活動助成金、協力隊起業支援補助金]	6,925	協力隊員定住率(R6数値)	60%	42%	70%	71%	0%	令和6年4月から自然環境保全等推進業務担当として1名の協力隊を採用しており、継続的に協力隊員を募集・採用ができていることから、有効的と評価する。定住率増加のため、定住した協力隊員がこれまで培った力を発揮できるよう支援強化に取り組んでいただきたい。
15	3	①	シングルマザーの転入誘致	子育てしやすい環境を創出し、シングルマザーの転入を促進するための受け皿を構築する。	○受入窓口の維持、連携 ○雇用、住居、保育等のマッチング ○受入シングルマザーに対するアフターケア	0	受入件数(R2～R6計)	5件	0件	0% (0件) [R2～R6]	29%	43%	実績がなく有効性の判断は難しい。問合せ件数についても0件となっており、令和6年度から事業自体の廃止となっていることも踏まえ、シングルマザーに限らない移住定住支援事業に注力する必要がある。 また、子育て世代に対して、町の魅力PRが足りていないと感じるため、教育・就労・自然など、各分野の魅力が具体的に伝わるよう、工夫が必要。

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和6年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和7年6月4日～27日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならない場合あり。

No	基本 目標	分類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R6事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と言えない	
									R6	達成率			
16	3	②	出産までの支援	子どもをつくりやすい環境づくりを促進する。	○妊娠(不妊治療含む)・出産に係る費用及び精神的支援 ○出産祝い品の贈呈 [保健師による妊産婦との面談、妊産婦健診や出産時に係る助成等、新生児へのめん羊布団贈呈]	3,894	合計特殊出生率(R6数値)	1.66%	0.75%	45%	100%	0%	令和6年度の出産件数は13件。実績値については、指標を達成していないが、保健師による相談業務、妊産婦健診及び出産に係る経費の一部助成など妊産婦の不安解消や経済的負担の軽減が図られており、有効的と評価できる。本町に出産可能な医療機関がないことから、今後も継続した支援を実施していく必要がある。 また、令和5年度より支給開始した「出産・子育て応援ギフト」については、経済的負担軽減に効果的と思われるため、引き続き取り組んでいただきたい。
17	3	②	子育て環境の充実	子育て世代が望む時代にあった子育てのしやすい環境を整える。	○子育て世代の誰もが望み集いやすい環境の整備 ○相談(発達、育児等)及び保育機能等(一時預かり、遊びの場の提供等)の充実 ○子ども達に係る医療費の負担軽減 [認定こども園、私立幼稚園運営支援補助等]	207,741	子育てしやすい満足度(R6数値)	50%	27%	53%	100%	0%	令和6年度においても待機児童はなく、各認定こども園・幼稚園の取組により、保護者の需要は満たされているものとする。また、中学生以下の医療費無償等の支援により、子育て世帯の負担軽減に繋がっていると評価できる。子育てしやすい満足度の向上のため、今後も、子育て世帯のニーズに対し安定した支援を推進していく必要がある。
18	4	①	地元高校への進学者確保	地元高等学校の魅力向上と通学しやすい環境作りに努め、町内外からの進学者を確保する。	○高等学校の魅力化支援 ○高等学校進学に係る経済的支援 ○奨学金制度の拡充 ○道内外中学校等に向けた宣伝PR	22,247	町内中学生の町内高校への進学率(R6)	80%	64%	80%	100%	0%	地元高校への支援事業、進学に係る経済的支援については町内及び近隣町村の生徒が羽幌高校を選択する状況に寄与しており、実績値が指標に達成していない状況ではあるが、有効的と評価する。 なお、町外への進学理由には、部活動や環境変化希望などがあり、進路先多様化のため、町内での進学率向上が難しい状況であるが、魅力化支援として、中学生に対する進路希望のニーズを踏まえた教育課程の編成や授業等への支援が今後は必要と考える。 また、天売高校に関しては、継続して島外入学者を確保しており、世帯にて島内に移住するケースもあったことから、引き続き魅力ある高校への支援を期待したい。
19	4	②	児童生徒の学び機会の充実	学習や体験学習の場の充実及び拡大を図り、魅力ある学びを提供するとともに郷土愛を育む校外活動を促進する。	○子ども自然教室事業	261	自然教室平均参加率(R6)	65%	54%	83%	100%	0%	令和6年度の参加者数は昨年度より増加しており、実績値が指標を下回っているものの、異年齢の児童との活動により豊かな情操や人間性を養い、郷土愛を育てており、有効的と評価する。 今後は、自然教室以外でも、小中学校の教科学習につながるようなイベント実施や高校・専門学校、大学との連携など、幅広い関係団体との事業展開も検討されたい。
20	4	③	人づくり事業	地域活動等に従事する町民の中から将来のまちづくりを担う人材を育成するとともに、地域医療を支え志す将来の医療従事者(人材)を育成する。	○研修活動等に係る支援(人づくり事業) ○地域医療に従事する看護師等の育成(助産師・看護師確保対策事業)	3,109	補助決定件数(地域活動)(R2～R6計)	50件	5件	56%(28件) [R2～R6]	100%	0%	人づくり事業補助は、地域スポーツのモチベーション・指導力向上のための教室開催、青少年の健康増進のための冬のイベント実施など計5件の活用があった。 修学資金貸付については、卒業生2名が看護師として就職したほか、医療従事の貸付対象も順調に推移しており、有効的と評価できる。なお、修学資金貸付の他、就労後の福利厚生やスキルアップできる環境提供や支援についても、制度拡充として、今後検討願いたい。 今後も制度概要等の周知強化を図りながら、ニーズと育成効果に合わせた制度設計に努めていく必要がある。
							貸付決定件数(医療従事)(R2～R6計)	10件	3件	250%(25件) [R2～R6]			

第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略登載事業 令和6年度事業検証結果一覧表

○検証方法 第2期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略推進会議(外部有識者)による検証(検証期間:令和7年6月4日～27日)

※評価の判断困難として「評価」欄の合計が100%にならない場合あり。

No	基本 目標	分 類	施策・事業名	事業目的・概要	事業内容	R6事業費 (千円)	重要業績評価指標(KPI)				評価		外部有識者による評価等
							指標	指標値	実績値		有効的 である	有効的 と言えな い	
									R6	達成率			
21	4	⑤	介護向け人材 の育成	高齢社会に向けた人材の育成及び確保 に努める。	○高校生と介護職員の交流事業 ○介護知識向上のための研修会等の開催 ○介護職員の給与等の底上げの実施 【ケアマネージャーの交流及び技術向上等を目的 とした研修会の実施、資格取得に係る経費の助 成】	260	交流会及び 研修会実施 回数(R6数 値)	2回	0回	0%	71%	14%	実績値として推進期間中は実績ゼロという形になっているが、他団体実施の研修会参加費用 への補助を実施しており、これにより、一定の人材育成と確保が図られていると評価する。 引き続き、受診者の負担軽減のための支援を実施し、介護従事者の確保と介護サービスの安 定供給を図るよう取り組んでいただきたい。
22	4	⑤	高齢者向け生 きがい対策	高齢者の居場所、活躍の場の確保に努め る。	○老人クラブ活動事業	849	老人クラブ 組織数(R6 数値)	9団体	6団体	67%	100%	0%	老人クラブ活動の支援は、明るい長寿社会づくりにおいて、貴重な交流の場として機能しており、高齢者の地域活動への参加にもつながっていることから、有効的と評価する。 実績値としては、指標値を下回る結果となっているが、高齢者も含めた人口減少の中、昨年度 のクラブ組織数を維持していることは評価できるため、今後も組織数維持を目標に、活動支 援強化を期待する。
23	4	⑥	障がい者及び 高齢者等への 支援	バスその他の交通機関の利用が困難な重 度の障がい者及び高齢者等が、通院等で ハイヤーを必要とする場合に、その費用 の一部を助成することにより、その者の 日常生活または社会生活の活動を容易に し、もって福祉の増進を図る。	○福祉ハイヤー料金助成事業 【下肢等の障がいにより歩行が困難な者や当該年 度中に80歳に到達する者へ福祉ハイヤー利用券 を交付】	10,569	対象者利用 数(R2～ R6平均値)	70%	48%	69% (45.6%) 【R2～R6 平均】	100%	0%	実績値が指標値を下回る結果となったが、事業自体においては、障がい者等の生活支援の一 助に欠かせず、有効的と評価する。 目標指標値70%に対し48%と対前年で微減となっており、要因として利便性向上を目的に 配布枚数を増加させたが、従来の利用者のみが利用する状況により、利用枚数が伸び悩む結 果となったことから、今後は認知度向上と利用者数増加を目標に事業推進に努めていく必要 がある。